面ID=日刊工業. ５月２９日.全国.１３版.【編特２】 LMP01
出力時刻=05/28 13:22 出力指示時刻=2025/05/28 13:22

働く人の安全・健康・ウェルビーイング

制御技術、進歩見据え

価値の整理と新たな価値

日本電気制御機器工業会（NECA）は1964年に設立された。主に操作用スイッチ、検出用スイッチ、制御用リレー、プログラマブル・ロジック・コントローラー（PLC）・FAシステム機器、安全制御機器を製造しているメーカーが集まった工業会であり、制御技術（電気制御機器を含む）の調査・研究・規格立案や、制御技術の利用による安全対策および社会の課題解決などを行っている。

2024年に創立60周年を迎え、理念として掲げている「新たな価値を創造し、誰もがいきいきと活躍できる持続可能な産業・社会に貢献する」に基づき、新たなビジョンとして「将来ビジョン2030 ～新たな価値の創造に向けて～」を制定した。NECAは、制御技術の進歩を見据え、価値の整理と新たな価値の創出を目指していく。

新たなミッションは、「制御技術の進歩と産業の持続的成長に貢献し、社会の課題に応じて提供価値を拡大することで豊かな社会づくりを実現する」だ。従来の電気制御機器の枠を超えて、これまで培ってきた制御技術をさらに進化させ、会員企業および顧客の持続的成長に貢献することを目指す。

今後、制御機器単体での価値提供にとどまらず、ソフトウエアやサービスにまで範囲を広げ、社会や顧客の課題解決を支援し共創する企業にも対象を拡大していく思いを込めて、現在の工業会名称から機器を外した「日本電気制御技術工業会（NECA）」への変更を予定している。

日本電気制御機器工業会（NECA）会長
山本 清博

アズビル取締役代表執行役社長。89年（平元）に山武ハネウエル（現アズビル）に入社し、ビルディングオートメーション事業マーケティングや全社経営企画に従事。23年5月にNECA会長就任。

将来ビジョン2030 ～新たな価値の創造に向けて～

人材開発・人材獲得「People」
視点転換「Perspective」
新たな価値を創造し
誰もがいきいきと活躍できる
持続可能な産業・社会に貢献する
生産性向上「Productivity」
共創「Partnership」

2030年を達成時期とする新たなビジョン。
四つの「P」からなる新たな価値の提供拡大を目指す

産業の持続的成長に貢献

４つのバリューで人・職場づくり

具体的には、四つのバリュー「People（人材開発・獲得）」「Productivity（生産性向上）」「Perspective（視点転換）」「Partnership（共創）」を設定し、新たな価値の提供拡大を目指していく。この中で最も重要視しているのは「人」に関する部分だ。

人口減少に伴う競争の激化や、「モノからコト」へのシフト、デジタル化の進展に対し、人材確保と育成は製造業全般に関わる大きな課題であり、この課題を解決するための活動を拡充していく（People）。

モノづくりに関しては、AI（人工知能）の応用を含め、多様な制御技術やその応用を通じて、単純な生産性向上を目指すだけでなく、これまで以上の高い付加価値を創出することが可能になると考えている（Productivity）。

さらに、新型コロナウイルス禍以降、サプライチェーン（供給網）の混乱や地政学リスクの増大により不確実性が増している現在の社会課題に対応するには、製造関連技術の著しい進化を活用し、固定観念にとらわれず多面的な視点で活動を展開することが重要だ（Perspective）。多面的な活動を展開するには、従来の枠を超えた共創が不可欠となる（Partnership）。これらの四つのPを組み合わせて、NECAとして豊かな社会の実現に貢献していきたいと考えており、ウェルネスや快適性が促進されることで健康な職場づくりの実現を目指していく。

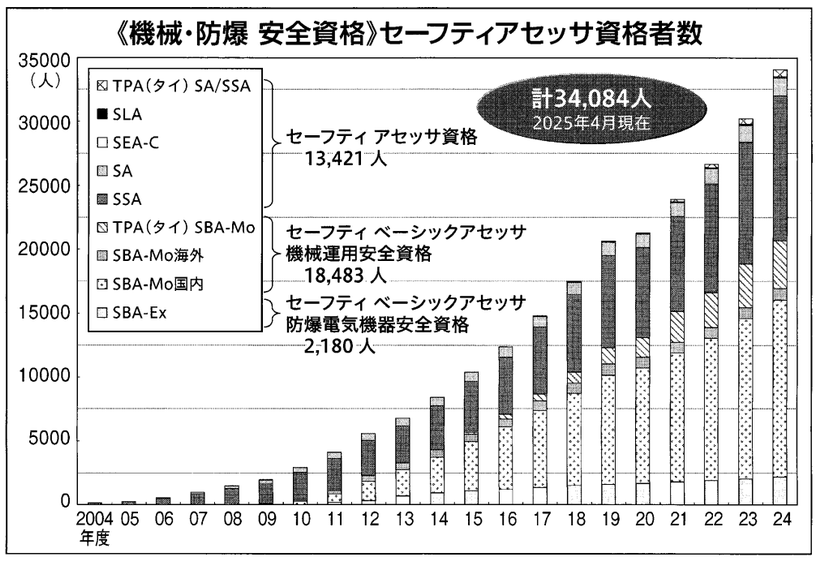
自分たちの製品が社会にどのように貢献しているかを生産担当者が実感し、より個別のニーズに応じた新たな付加価値の提案を実現するために、制御技術も新たな可能性を広げられると確信している。社会課題も大きく変化していく中で、未解決の課題を解決することが、新たな価値の創出につながると考えている。

気候変動への対応や環境規制の強化が求められる中、業界全体の脱炭素化の加速と、資源循環の推進に対応するために、デジタル変革（DX）の深化や、AI・モノのインターネット（IoT）技術の革新を活用した生産性向上も必要となる。NECAはこれらの課題に対応し、業界全体の連携を強化、人材の育成・確保に努めていく。

また技術の進化に伴い、人とロボットが協働する新たな生産システムの導入が拡大する中、NECAは、安全・健康・ウェルビーイングの取り組みとして、安全関連の標準化活動への参画や関連技術動向の調査・研究、情報発信を通じて、産業現場における安全・安心な環境づくりに寄与する安全制御技術の発展とその普及を目指している。

安全・安心な職場づくりには、国際規格に基づいた機械の安全性に関する知識を持つ人材が必要だ。機械の設計者や管理者には、機械装置の安全性を確保する技能が求められる。この認識の浸透と必要な知識・技能基準の明確化を受け、NECAでは04年に「セーフティアセッサ資格制度（SA資格制度）」を創設した。人・モノ・環境が協調して高次元の安全と高い生産性を実現できる安全人材育成のため、この資格制度を推進している。併せて新しい安全技術の調査・検討を行っている。

さらに、SA資格制度のグローバル展開や国際標準化を推進し、安全制御機器市場の拡大や安全啓発・人材育成を図り、世界のモノづくりにおける安全確保に貢献している。この資格制度は、創設から20年を経て、25年4月時点で総資格者数が3万4084人に達している。詳しくはNECAの公式サイトをご覧いただきたい（https://www.neca.or.jp/info/safety/anzen/sa_sba/）。



国際規格に基づく機械安全資格制度

その他の活動としては、「統計・分析」「規格」などがある。統計・分析では電気制御機器に関する自主統計や需要予測を行い、規格においては国際標準であるIEC規格や国家標準の日本産業規格（JIS）の原案作成、工業会規格であるNECA規格の制定などの標準化活動を行っている。

モノづくりの重要性は変わらず、NECAは共創の世界を実現し、特にウェルビーイングや快適性を促進し、健康的な職場づくりに取り組んでいく。会員企業および関連団体と連携を深め、持続可能な成長を追求しながら、製造業の発展と制御技術の進歩への貢献を目指す。

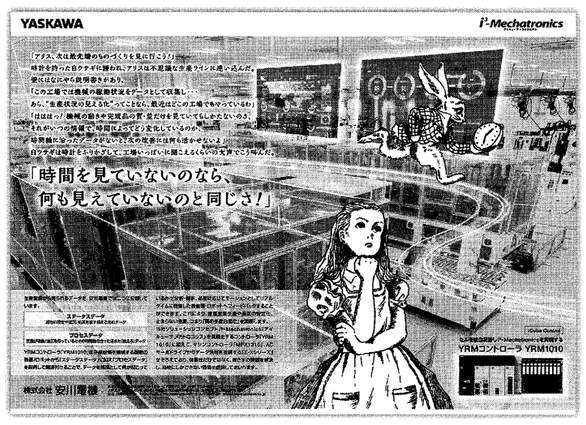
今後とも、当工業会の活動にご理解とご支援をお願い申し上げる。

2024年 日本産業広告賞作品集 発売中

日刊工業新聞広告大賞

雑誌部門 第１席

新聞部門 第１部 第１席



情報誌部門 第１席

入賞全作品収録
●新聞部門 18作品 ●雑誌部門 6作品 ●情報誌部門 4作品

専門審査委員の選評掲載
● 嶋村和恵 審査委員長 （早稲田大学教授）
● 谷山雅計 審査委員 （東京コピーライターズクラブ会長）
● 石崎 徹 審査委員 （専修大学教授）
● 芳賀康浩 審査委員 （青山学院大学教授）
● 福島 治 審査委員 （東京工芸大学名誉教授）

●お問い合わせは…〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
日刊工業新聞社業務局 日本産業広告賞事務局 tel.03-5644-7353

産業広告の頂点…。
お申込み・お問い合わせはEメール（btob-ad@media.nikkan.co.jp）へ ※FAXでも承ります

お申込みは FAXで・03-5644-7300
作品集申込書（日本産業広告賞）
フリガナ
氏名 （ ）冊
勤務先 所属
送り先住所 〒
TEL（ ）－
FAX（ ）－
フルカラー頒価 3,300 円（税込み）送料別

指定なし